

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

犬山市地域公共交通会議

平成19年4月1日設置

令和5年 6月28日 フィーダー系統 確保維持計画 策定

令和5年11月10日 フィーダー系統 確保維持計画 変更
(わん丸君バス再編に伴う修正)

令和6年 4月12日 フィーダー系統 確保維持計画 変更
(地域公共交通計画策定に伴う修正)

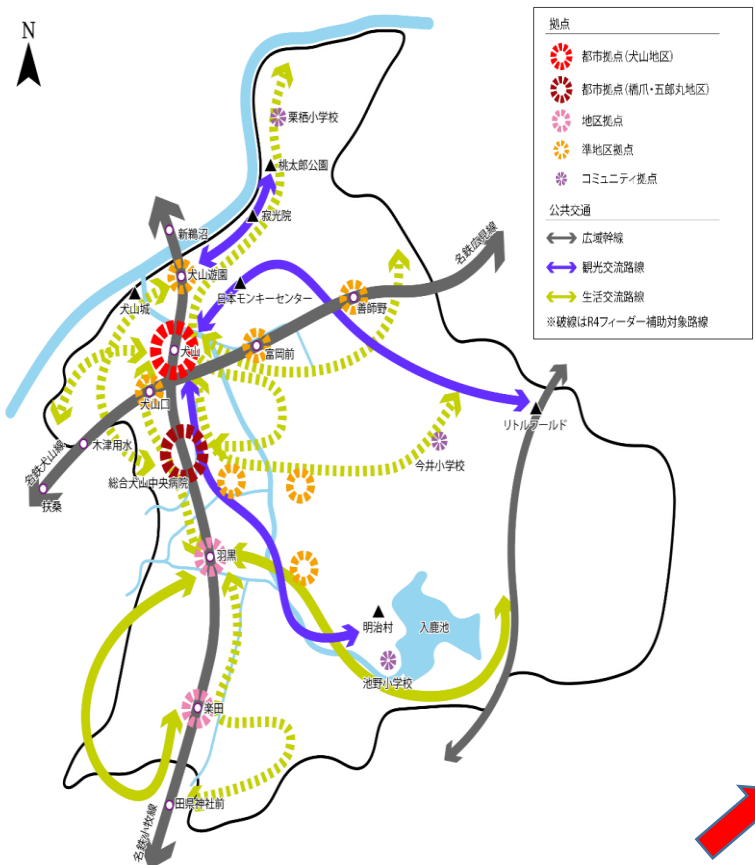
評価対象の地域公共交通確保維持事業

- ・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

【本市の目指す姿・方向性】

公共交通が支える安心で快適な暮らし みんなつながるまち

犬山市の公共交通ネットワークイメージ



フィーダー補助関連

市内の移動サービスの位置づけと役割

位置付け	対象路線	路線の役割	確保・維持策
広域幹線	名鉄犬山線 名鉄広見線 名鉄小牧線 東鉄バス	都市間を結ぶ広域的な移動を担う	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する 関係市町や犬山市が共同で利用促進を図る
観光交流路線	岐阜バス 明治村線 リトルワールド・モンキーパーク線 名鉄バス (紅葉ルートバス)	市中心部や拠点と主要観光施設間の移動を担う	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する 交通事業者と観光施設、市が連携して利用促進を図る
生活交流路線	わん丸君バス 楽田西部線 入鹿・羽黒線 朝便栗栖線 朝便今井線	住宅団地と市中心部・主要施設間の移動を担う	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する 市が利用促進を図る
	わん丸君バス 楽田東部線 善師野・塔野地線 内田線 栗栖・富岡線 上野線 今井・前原線		<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって需要に応じた運行水準を確保する必要があるが、事業者及び市の運営努力だけでは路線の維持が困難であり、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用が必要である。 市が利用促進を図る
個別輸送	タクシー 福祉輸送	他の公共交通でカバーできない部分の移動を担う	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する 交通事業者と市が連携して利用促進を図る

公共交通事業の取組み

わん丸君バスの利用者数について、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、継続的な運行実施のため、様々な観点から利用促進を図る必要がある。

また、生活様式の変化や今後の人口減少を鑑みて、コミュニティバスだけではなく電車・バス・タクシー等公共交通全体を考慮して、今後の犬山市における交通について検討していく必要がある。



【取組み①】 地域公共交通計画を策定

令和6年2月に策定。

策定により、公共交通全体に関する市の方針が定まっていなかった状態が解消された。

今後は、計画に基づき、各種事業を実施していく。

計画期間：R6～R10の5年間

公共交通全体についての計画を策定したことで、わん丸君バスの役割がより明確となった。今後、その役割に対する施策を実施していくことで、更なる利用者増へつなげていく。



犬山市地域公共交通計画



2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

【取組み②】 「総合的な公共交通についての検討」の実施

地域公共交通計画の策定をきっかけとして、犬山市にとって最適な公共交通施策を検討した。検討にあたっては、交通担当課だけでなく、他部署（福祉・高齢者担当）や事業者（タクシー会社・デマンド交通システム会社など）も含めて多角的に議論を行った。

課題

地域内の移動手段として
わん丸君バスを運行しているが、
「出かけたけれど
バス停までが遠い」
といったケースが生じている。



タクシー車両の活用・デマンド交通など
わん丸君バス以外の選択肢も含め 総合的に検討

わん丸君バス ⇒ 【方針】現状の維持・確保
デマンド型交通 ⇒ 【方針】導入なし
タクシー（高齢者・障害者）⇒ 【方針】事業内容の拡充

2ヶ年で段階的に拡充
R6：対象年齢を85歳以上から75歳以上に拡大
R7：85歳以上の方のうち非課税世帯の方にタクシーチケットを追加で配布

各年度、10月末時点

	申請者数 (人)		発行枚数 (枚)	利用枚数 (枚)	利用率 (%)	金額 (円)
		うち75～84歳				
R5	1,476		39,934	8,460	21.2%	5,265,230
R6	1,870	388	49,840	10,368	20.8%	6,443,240
伸び率	26.7%		24.8%	22.6%	-	22.4%

【取組み③】 公共ライドシェアの実施準備

令和6年4月 岐阜バス「明治村線」の減便
→沿線住民の朝・夜の公共交通による移動手段
がなくなり、通勤・通学に支障が生じている。

沿線住民の通勤・通学の代替手段を検討。
他会社のバス・タクシー等その他の公共交通も近年の全国的な
運転者不足等の影響により、対応が困難な状況である。

実施日：R6.12.2(月)～

道路運送法第78条第2号による
自家用有償旅客運送を実施



鉄道会社の取組み

名古屋鉄道株式会社



★各季にキャンペーンを実施

犬山市の観光関連のポスターを車内や鉄道各駅に掲示し、鉄道利用促進を図った。また、R4年度からは通年キャンペーンとして展開し、年間を通じて犬山のPRを行っている。

R5.9.1～R6.2.28
通年キャンペーン（秋冬版）

R5.12.20～R6.2.28
冬の犬山キャンペーン

R6.3.1～R6.8.31
通年キャンペーン（春夏版）

R6.7.15～R6.8.31
夏の犬山キャンペーン



★ブランディング

犬山市内に2つのホテルを開業したことを機に、犬山の新シリーズ広告をスタート。ポスターや特殊広告を車内や鉄道主要駅に掲示し、鉄道利用促進を図っている。

犬山市への来訪者が増加することにより、わん丸君バス（内田線等）の利用者数増加にも繋がっている。



路線バス会社の取組み

岐阜乗合自動車株式会社



観光ハイシーズンにおける各施設の閉園時間延長に合わせた増便の実施

└─> 利用者の利便性の向上

リトルワールド・モンキーパーク線

■ゴールデンウィーク期間 (2024年5月)

7日間実施 増便：1本/日

■夏季休暇期間 (2024年9月)

4日間実施 増便：8本/日



明治村線

■ゴールデンウィーク期間 (2024年5月)

4日間実施 増便：1本/日



犬山市への来訪者が増加することにより、わん丸君バス（内田線等）の利用者数増加にも繋がっている。

タクシー会社の取組み

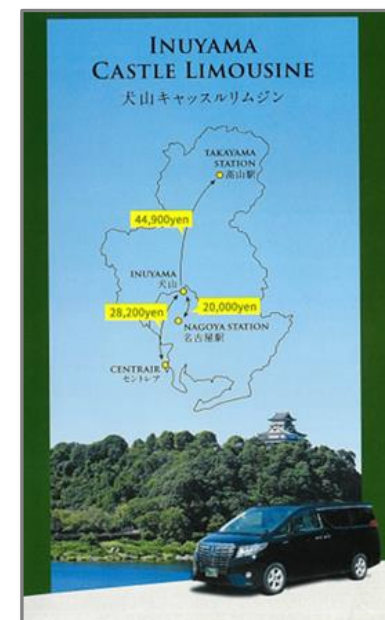


名鉄西部交通株式会社

「犬山キャッスルリムジン」の実施

観光タクシーは通年で実施しているが、期間限定で観光庁の既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業の採択を受け、名鉄西部交通株式会社が企画。インバウンドと中部圏外の観光客に対して、公共交通の利用促進を図った。

- 運行日 令和5年11月1日～令和6年2月18日
※12月29日～1月3日及び施設の休館日は除く
- 運行内容 全3コース
高山コース・名古屋駅コース・セントレアコース
- 運行時間 各コースで出発時間を設定



犬山市への来訪者が増加することにより、わん丸君バス（内田線等）の利用者数増加にも繋がっている。

路線バス関連の取組み

わん丸君バス



【取組み①】 令和5年12月に再編を実施

各地区からの要望を基に、路線変更やバス停の新設等を実施した。特に、他路線に比べて利用の少ない楽田地区の2路線については、始点から終点までの各バス停付近に、店や病院等が少ないため使いづらいとの声があるため、効率的な路線変更を検討し、公共交通会議にて協議を行った。

★再編のポイント★

- ①朝便2路線を新設
～栗栖・今井地区の中学生がバス通学できるように～
- ②地域の実情に応じた路線変更
～地元要望に応じた路線の変更～
- ③危険なバス停の解消
～曲がり角付近の全バス停を移設・廃止により解消～
- ④改善基準告示への対応（減便）
～ドライバーの労働環境改善のために～



広報の特集やコミュバス通信（町内会回覧）にて周知を図った



外国人観光客への対応として、バス停表示に停留所名をローマ字表記した

【取組み②】 パス券の種類追加

令和2年度より6ヶ月間有効のパス券を販売しているが、パス券の新規購入者が伸び悩んでいることから、令和5年12月の再編のタイミングで種類を追加した。

令和5年度第1回犬山市地域公共交通会議での協議（R5.6.23） → 承認

販売開始日：R5.12.1～

現行のパス券

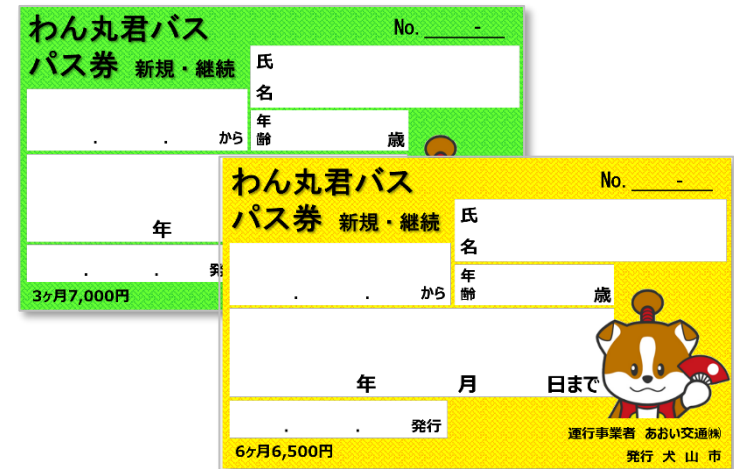
6ヶ月間有効のパス券

85歳以上・小学生：7,000円 大人：13,000円

追加したパス券

3ヶ月間有効のパス券

85歳以上・小学生：3,500円 大人：6,500円



以前より、6ヶ月より短い期間のパス券販売の要望があった。

令和5年12月より、中学生の通学利用のための路線を新設するため、各学期に合わせる形で3ヶ月間有効のパス券を作成した。

購入者数	： R3年度	34人
	R4年度	47人
	R5年度	61人（うち3ヶ月間有効5人）

【取組み③】 わん丸君バスの産業振興祭での出展

産業振興祭にてわん丸君バスを展示し、自由に乘ってもらうことで、わん丸君バスの認知度向上を図ると共に、公共交通への親しみを持ってもらう。

◆産業振興祭

R5.10.14(土)

犬山市市民文化会館にて



※来場者は約5,000人

自由に車内へ入ってもらい（運転席での写真撮影可）、乗り方やコミュニティバス事業全般についての説明を実施した。また、バスクイズも実施し、バスに関する情報を周知することができた。

【取組み④】 わん丸君バス出前講座のメニュー化

市民アンケートの結果では、「わん丸君バスは知っているが、路線・ダイヤはわからない」との回答が多い。認知度の向上を図るため、犬山市生涯学習まちづくり出前講座にメニュー化し、利用促進につなげる。

～犬山市生涯学習まちづくり出前講座とは～
市民が知りたいことや体験したいことについて、犬山市役所職員等が地域に出向いて、「講座を出前する」事業

31	災害から身を守るには	今、災害が起きたらどうしますか？身を守るためには、日ごろからの備えがとて重要です。我が家でできること、地域でできることなどを紹介し、学んでいく講座です。	対象を特定しない	防災交通課
32	わん丸君バスの乗り方教室	市内を走るわん丸君バス。バスの乗り方や時刻表・路線図の見方について学ぶ講座です。また、自分だけの時刻表「My時刻表」の作成も行います。	小学生 高齢者	防災交通課
33	楽しく学ぼう！下水道	下水道の役割や仕組みについて学び、下水道の大切さを知っていただく講座です。	小学生	下水道課

実施にあたっては、市のみでなく、警察署や民間団体（「コミュニティバスの充実を求める会」など）と連携・協働し開催していく。

【取組み⑤】 「犬山市内を走る乗り物」 作品展の開催

公共交通について関心を持ってもらうために、夏休み期間の「児童生徒作品募集」にて絵画の募集をしたところ、多くの作品が集まりましたため、作品展を開催した。




期 間 : R5.12.18(月)~27(水)
 場 所 : 犬山市役所 1階 市民プラザ
 展示枚数 : 152枚



市役所1階の正面玄関前で開催したため、多くの方に見てもらうことができた。
 また、提出された作品については、「犬山市地域公共交通計画」の挿し絵として二次利用を行った。



【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
タクシー車両による満車対応 	わん丸君バスが満員に達した際、タクシー車両を活用することにより、目的のバス停まで運行することで利便性の増進を図る。	R 5. 1 0～R 6. 9 満車件数：1 5 件 タクシー乗車：3 5 人	紅葉シーズンの栗栖・富岡線において満車となる頻度が多い。栗栖・富岡線については、路線の関係で13人乗りの車両で運行しているため、観光利用と重なると満車が生じやすい。観光部署との連携を図っていく必要がある。
紅葉期間中の増車対応 	紅葉期間中に度々満車となる栗栖・富岡線について、追走対応することで、利用者の利便性を図る。	R5.11.23～R5.11.29の5日間 利用者数：1 2 8 人	実施期間中はすべての利用者が乗車することができた。しかし、自由に増車できるわけではないため、天候や紅葉のピークの他にメディアの状況にも注視して実施日を決める必要がある。
新型コロナウイルスワクチン接種無料乗車 	新型コロナウイルスワクチン接種の促進及びわん丸君バスの利用促進を図るため、ワクチン接種が目的の乗車について無料とする。	R3.5.17～R6.3.31 利用者数 R 3：2 9 8 人 R 4：1 5 2 人 R 5：1 3 0 人	ワクチン接種会場までの移動手段として機能させることができた。令和6年3月31日をもって、新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種が終了したため、わん丸君バスの無料乗車も終了した。

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

【その他取組み】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>小中学生無料乗車</p> 	<p>モビリティマネジメントの一環として、市内在住の小中学生を対象に長期休暇中の無料乗車を実施。乗車の機会を設け、わん丸君バスへの親しみを深めてもらうと共に公共交通の利用促進を図る。</p>	<p>◆令和5年冬休み 利用者数：91人 ◆令和6年春休み 利用者数：208人 ◆令和6年夏休み 利用者数：669人</p>	<p>コロナ禍においては、利用が減少していたが、回復してきている。 子供だけの利用も多いため、バスの乗り方だけではなく施設への行き方等の周知も行っていくことで、利用促進を図っていく。</p>
<p>期日前選挙無料乗車</p> 	<p>投票率向上及びわん丸君バスの利用促進を図るために、期日前選挙期間に無料乗車を実施する。</p>	<p>～市長選挙～ R4.11.21～25(5日間) 利用者数：78人 ～愛知県知事選挙～ R5.1.20～2.3(土日除く11日間) 利用者数：87人 ～市議会議員選挙～ R5.4.17～4.21(5日間) 利用者数：89人</p>	<p>期日前選挙の投票所までの移動手段として機能させることができた。 今後も継続して実施していく。</p>
<p>多子多胎世帯支援事業 (わん丸君バス無料乗車)</p> 	<p>犬山市多子多胎世帯子育て支援事業におけるメニューの1つ。多子世帯の経済的支援や育児負担の軽減を図る。併せて、わん丸君バスの乗車機会を増やし、利用促進につなげる。</p>	<p>R4.4.1～ 利用者数 R4：1,013人 R5：1,107人</p>	<p>ある程度の利用があり、多子世帯の経済的支援やわん丸君バスの利用促進に寄与している。今後は、無料乗車券を配布する際に乗り方等の周知をし、更なる利用者の増加を図っていく。</p>

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和5年度実績27,994人（達成率：97%）であり、目標は未達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計114,870人以上（R5.10.1～R6.9.30）

補助対象路線名	目標（人）	結果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
栗栖・富岡線	13,310	12,877	×（達成率：97%）	12,720
上野線	16,170	17,713	○（達成率：110%）	17,152
今井・前原線	20,570	19,948	×（達成率：97%）	22,778
楽田東部線	5,720	5,659	×（達成率：99%）	5,125
善師野・塔野地線	17,270	13,242	×（達成率：77%）	15,889
内田線	10,010	12,789	○（達成率：128%）	11,950
計	83,050	82,228	×（達成率：99%）	85,596

補助対象外路線名	目標（人）	結果（人）	達成の状況	昨年度実績（人）
楽田西部線	9,460	7,693	×（達成率：82%）	9,882
入鹿・羽黒線	20,240	19,886	×（達成率：99%）	20,707
朝便栗栖線	1,060	498	×（達成率：47%）	新設
朝便今井線	1,060	514	×（達成率：49%）	新設
総計	114,870	110,819	×（達成率：97%）	116,185

結果：年間利用者数総計110,819人（達成率：97%）であり、目標は未達成

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和5年度実績27,994人（達成率：97%）であり、目標は未達成

【考察】

回復傾向ではあるが、定期利用・定期外利用共にコロナ禍以前の水準には戻っていない。テレワークやオンライン会議等の普及により、利用機会が減少しているため、他の公共交通との連携も含め、様々な観点から利用者数の増加を図る必要がある。

※直近事業年度の乗車人数

(人)

H30	元年度	R2	R3	R4
30,993	30,700	22,608	23,937	26,492

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計114,840人以上（R5.10.1～R6.9.30）

結果：年間利用者数総計110,819人（達成率：97%）であり、目標は未達成

【考察】

コロナ禍における減少率は約20%減でとどまり、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していた。その後、徐々に利用者数は回復傾向に転じ、前事業年度では過去最高の乗車人数となった（116,185人）。しかし、令和5年12月の再編における全路線減便の影響により再度減少に転じた。主に夕方の時間帯を減便したため、通勤・通学での利用者が減少したものと考えられる。今後の継続運行実施のためにも、高齢化や運転免許証自主返納の動きにより需要の増加が見込まれる高齢者への対応だけでなく、通勤・通学やコロナ禍以降戻りつつある観光客への対応等、様々な観点から更なる利用促進を図っていく必要がある。

※直近事業年度の乗車人数（全路線）

H30.10～R1.9	115,184人	※コロナ禍以前での最多乗車人数
R1.10～R2.9	102,547人	※事業年度の途中から緊急事態宣言が発令
R2.10～R3.9	94,201人	※コロナの影響を最も受けた事業年度
R3.10～R4.9	102,701人	※緊急事態宣言は終了し、利用者数は回復傾向へ
R4.10～R5.9	116,185人	※過去最大の乗車人数

4. 【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針 の作成

わん丸君バスの利用者数について、コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、継続的な運行実施のため、様々な観点から利用促進を図る必要がある。

また、生活様式の変化や今後の人口減少を鑑みて、コミュニティバスだけではなく電車・バス・タクシー等公共交通全体を考慮して、今後の犬山市における交通について検討していく必要がある。

★公共交通全体での方向性の検討

【課題①】

減便による代替手段の確保。「公共交通で移動できていたのに利用できなくなってしまった」というケースが生じている。

【対応】

地域公共交通計画を策定したが、交通を取り巻く社会環境の変化が著しく早くなっており、より柔軟な対応が求められる。

わん丸君バス以外の選択肢も含めて、公共交通の維持・確保・活性化に努める。

(例)

岐阜バスの減便 → 公共ライドシェア実施
わん丸君バス減便 → タクシー補助 など

【課題②】

地域公共交通計画にて、わん丸君バスを生活交流路線として位置付けて運行しているが、「バス停までが遠い」等の理由で、公共交通が利用しづらい地域がある。

【対応】

地域特性（道路幅など）により、わん丸君バスが運行できない地域もある。すべてバスでカバーすることは困難なため、タクシー車両の活用等を検討し、公共交通の利用促進を図る。

★わん丸君バスの利用促進**【課題③】**

地域特性としてマイカーの保有率が高く、日常生活でも車で移動する方が多い。その結果、移動手段の選択肢として公共交通の優先順位が低くなっている。

【対応】

商業施設・観光施設等と連携し、わん丸君バス利用者に特典を提供できる取り組みを実施することにより、何となく車を利用している方が、公共交通を利用するきっかけを作る。

(例)

- ・バスに乗車するとドラッグストアの割引券がもらえる。

【課題④】

転入や運転免許自主返納等による新たな利用者に対するわん丸君バスの周知。わん丸君バスの認知度は高いが、実際の利用に至っていない。

【対応】

時刻表や路線図を配布するだけでなく、バスで行ける施設などを積極的にPRし、利用促進を図る。

(例)

- ・チラシにわん丸君バスの情報を記載
- ・出前講座の実施

(現状)

- ・市民アンケートの結果では、「わん丸君バスは知っているが、路線・ダイヤはわからない」との回答が多い。認知度の向上に努め、利用促進につなげる。

5.直近2年間の二次評価の活用・対応状況

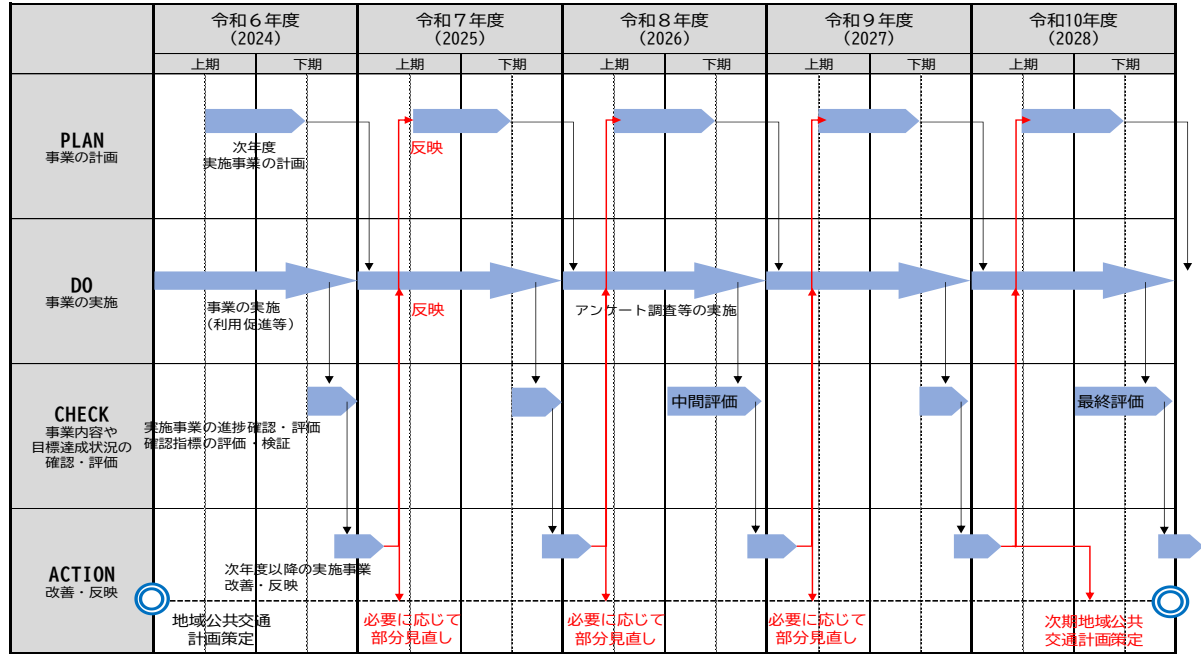
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	<p>観光地という地域特性も踏まえ、地域公共交通計画に位置づける乗り継ぎに配慮したダイヤ設定や乗り継ぎに関する分かりやすい情報提供等により、公共交通ネットワークとしての利便性向上や更なる利用者の増加につなげることを期待します。</p>	<p>①外国人観光客への対応として、令和5年12月の再編時に、バス停表示に停留所名をローマ字表記しました。</p> <p>②G T F Sデータを活用し、新たに「駅すばあと」でも経路検索ができるようになりました。 ※従来より、「ジヨルダン」・「NAVITIME」・「Googleマップ」での検索が可能</p>	<p>公共交通計画に従って事業を実施し、快適な乗継環境や地域のニーズに対応した交通サービスの確保・維持に努めます。また、持続可能な公共交通として大規模災害時も想定し、交通分野での災害協定の締結を目指すなど、安全・安心な公共交通も推進します。</p>
	<p>バス教室等の実施やバスで行ける施設等に係る情報発信など、連携・共創の下、地域の方や観光客に公共交通を知ってもらう、使ってもらう取組が継続されることを期待します。</p>	<p>①「乗り方教室」を、市が実施する出前講座にメニュー化しました。 (直近で1件の申込みがありました。)</p> <p>②民間団体である「コミュニティバスの充実を求める会」と連携し、地域での意見交換会やバス教室を実施し、情報発信を強化します。</p>	<p>バス教室等の情報発信については、わん丸君バスに関する更なる周知を図るため、開催数の増加に努めます。</p> <p>また、開催にあたっては、市単独ではなく、交通事業者や民間団体等と連携・協働して実施することで、持続可能な公共交通の確保に努めます。</p>

※前回：令和6年3月21日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	令和4年7月に実施した市民アンケートをもとに、公共交通計画の策定及び効果的なバス路線の再編等を検討されることを期待します。	<p>①市民アンケート結果及び地元からの要望に伴い、バス路線の再編を実施する予定です。</p> <p>②「今は公共交通に頼らないが、いつか自家用車を持たなくなったときに不安」との声があるため、公共交通計画にて、わん丸君バスを生活交流路線と位置付けることで、今後も継続して運行することを明記する予定です。</p>	令和5年12月のわん丸君バス再編及び令和6年2月の公共交通計画策定にあたり、市民や関係者の声を十分に取り入れたうえで検討を進めていきます。
	アンケート結果より、公共交通機関の利用に係る情報(バスのダイヤやルート・行くことの出来る施設等)の認知度は非常に低い結果が出ていることから、市民に対する情報の積極的な周知を図るよう期待します。路線の再編、運行の実施、バス停の設置状況などについて、市民の安全・安心に向けて、確実にルールが守られるものとなるよう、確認をして下さい。	<p>①市ホームページ内の施設案内のページにおいて、わん丸君バスにおけるアクセス方法や最寄りバス停等を掲載しました。</p> <p>②令和5年12月の再編においては、時刻表・路線図を全戸配布する予定です。</p> <p>③市民の安全・安心のために、いわゆる「危険なバス停」とされているバス停について、移設・廃止により全て解消する予定です。</p>	平成30年のわん丸君バス再編の際に大規模なルート見直しを行いました。5年が経過し、利用者に定着しつつあります。今後はバス教室の実施等により、積極的に情報の周知を行うことで、利用促進を図っていきます。

※前々回：令和5年3月10日

【P D C Aの推進体制】



【直近1年の協議会の実施日程】

日程	議事内容
令和5年 12月22日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について 地域公共交通計画(案)の策定について 岐阜バス「寂光院線」の廃止について
令和6年 3月22日	<ul style="list-style-type: none"> 地元要望に伴う路線の変更について(楽田西部線) (仮称)犬山市地域公共交通運賃料金協議会の設置について

日程	議事内容
令和6年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画認定申請書(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)(案)について 岐阜バス「明治村線」の一部路線廃止について 岐阜バス「明治村線」沿線における交通空白地(時間帯)の指定について 事業者協力型自家用有償旅客運送事業の実施について
令和6年 12月20日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

(別添1)

協議会名: 犬山市地域公共交通会議

令和6年12月 日

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C・評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C・評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載	
あおい交通株式会社	栗栖・富岡線	コロナ禍において利用者が減少したが、移動が必要な人の交通手段として機能していた。その後、徐々に利用者数は回復傾向に転じており、高齢化や運転免許証自主返納の動きもあるため、今後ますますの需要増加が見込まれる。また、観光客も戻りつつあり、今後の継続運行の実施のためにも、様々な観点から更なる利用促進を図る。	計画通り適切に実施された	A	利用者数による年間目標値13,310人に対して12,877人の実績であり目標は未達成。【達成率:97%】 B 年間目標値を設定する際に、再編による減便(12便→10便)を想定しておらず、目標値としては未達成。しかし、買い物・通院等移動が必要な人の交通手段として一定の利用があり、年間利用者数は前年より増加している。(12,702人→12,877人)	【目標】 公共交通の総利用者数 11,680,000人/年 鉄道:名鉄各線の市内各駅乗降者数 路線バス:岐阜バス「リトルワールド・モンキーパーク線」「明治村線」 わん丸君バス:全路線 タクシー:犬山タクシー(株)の年間利用者数	
	上野線			A	利用者数による年間目標値16,170人に対して17,713人の実績であり目標を達成。【達成率:110%】 A 買い物・通院等生活に必要な移動を目的とした利用者が多いため、再編により減便(12便→10便)したが、免許返納等による需要増加により、利用者数は増加傾向にある(17,152人→17,713人)	【目標に対する考察】 コロナ禍における減少率は約20%減でとどまり、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していた。その後、徐々に利用者数は回復傾向に転じ、前事業年度では過去最高の乗車人数となった(116,185人)。しかし、令和5年12月の再編における全路線減便の影響により再度減少に転じた(110,819人)。主に夕方の時間帯を減便したため、通勤・通学での利用者が減少したものと考えられる。今後の継続運行実施のためにも、高齢化や運転免許証自主返納の動きにより需要の増加が見込まれる高齢者への対応だけではなく、通勤・通学やコロナ禍以降戻りつつある観光客への対応等、様々な観点から更なる利用促進を図っていく必要がある。	
	今井・前原線			A	B	利用者数による年間目標値20,570人に対して19,948人の実績であり目標は未達成。【達成率:97%】 令和5年12月の再編で、夕方の時間帯が減便となり、通勤・通学での利用者減少につながった。	R1.10~R2.9 102,547人 R2.10~R3.9 94,201人 R3.10~R4.9 102,701人 R4.10~R5.9 116,185人 R5.10~R6.9 110,819人
	柴田東部線			A	B	利用者数による年間目標値5,720人に対して5,659人の実績であり目標を未達成。【達成率:99%】 B 鉄道駅へのアクセスが不便であるという課題があったが、再編により名鉄小牧線「田原神社前駅」にも接続し、利便性の改善に努めた。再編による減便(11便→10便)を想定おらず、目標値としては未達成だが、年間利用者数は前年より増加している。(5,125人→5,659人)	【改善策】 ・商業施設や観光施設等と連携し、わん丸君バス利用者に特典を提供できる取り組みを実施することにより、公共交通を利用するきっかけを作る。 ・時刻表や路線図を配布するだけではなく、バスで行ける施設などを積極的にPRし、利用促進を図る。
	善師野・塔野地線			A	B	利用者数による年間目標値17,270人に対して13,242人の実績であり目標は未達成。【達成率:77%】 令和5年12月の再編で、夕方の時間帯が減便となり、通勤・通学での利用者減少につながった。	・地域公共交通計画を策定したが、交通を取り巻く社会環境の変化が著しく早くなっており、より柔軟な対応が求められる。わん丸君バス以外の選択肢も含めて、公共交通の維持・確保・活性化に努める。 ・地域特性(道路幅など)により、わん丸君バスが運行できない地域もある。すべてバスでカバーすることは困難なため、タクシー車両の活用等を検討し、公共交通の利用促進を図る。
内田線	A	A	A	利用者数による年間目標値10,010人に対して12,789人の実績であり目標を達成。【達成率:128%】 A 犬山城方面へ向かう観光利用が増加している。また、買い物・通院等移動が必要な人の交通手段としては一定の利用があり、生活を支えとなっている。			

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年12月 日

協議会名:	犬山市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>犬山市では、民間バスの撤退による公共交通不便地域の解消及び高齢者や自ら交通手段を持たない交通弱者を対象に、主要な公共施設や市街地等へ移動する手段として、平成12年度より4路線でコミュニティバスの運行を開始した。</p> <p>今後も、変化する市民ニーズに対応するとともに、高齢社会を見据え、コミュニティバスが市民の貴重な足としての機能を更に発揮し、市民が健康で豊かな暮らしを送るため事業を継続する必要がある。</p>
-----------------------------	---